

職人魂

代表取締役

伊藤 文義

静岡興富士宮市出身。一九六七年生まれ、一五歳の時に塗装工事の修業を開始し、二二歳で独立を果たす。二〇〇一年には有限会社として組織の法人化を行い、企業基盤を確立。現在は、五名のスタッフを牽引し、地域密着型の経営を続けている。



15歳から塗装の道一筋に歩んでいる伊藤社長が、今から約17年前——22歳の時に創業した「ペイントショップ栄和」。創業以来地道に信用を積み重ね、2001年には有限会社として法人化を果たした。「とにかく人に喜んでいただける施工を行いたい」と語る伊藤社長。全スタッフが心を込めて施工をしているという同社を女優の大西結花さんが訪れ、伊藤社長にお話を伺った。

大西 「ペイントショップ栄和」さんでは、塗装・吹付・壁面防水工事一式を手掛けておられるとか。まずは伊藤社長の歩みからお聞かせください。

伊藤 ここ富士宮で生まれ育ち、15歳の時に塗装職人としての修業を開始しました。以来、39歳の現在までこの道一筋に歩んでいます。

大西 独立されたのはいつですか。

伊藤 22歳の時です。親方から「お前はもう自分ができる」と言われ、独立しました。当初はその親方の下請けという形で仕事をさせていただいたんです。これまで60メートルくらいある煙突から携帯電話のカバーまで、多種多様なものの塗装を手掛けてきました。経験と実績を積み、2001年に有限会社として組織を法人化。また今から約5年前より、お

●ひと塗りひと塗りひと塗りに心を込めて……

明るく元氣な職人集団が

顧客の「心」に響く塗装を実現！



職人のこころ

▼「ペイントショップ栄和」では「失敗しない塗装工事、欠陥リフォームはこう防げ!」(著作・全国営業振興協会/画・小村大樹)という小冊子を無料で配布している。同書は欠陥リフォームにならないための方法や見積書の落とし穴、悪徳業者の見極め法などをマンガで分かりやすく解説したものだ。伊藤社長は塗装の仕事に誇りを持っている。その塗装工事を利用して地域の人々を騙す悪徳業者を、

社長は許せないのである。

▼「私どもは「気軽に頼める身近なペンキ屋」として、これからも地域の皆様とのお付き合いを続けたい」と語る伊藤社長。社長は顧客、近所の人々、スタッフやその家族……自分にかかわるすべての人たちに深い愛情を持って接している。周囲との信頼関係を何よりも大切にしているのだ。「信頼なくして仕事なし」——それが社長の持論だ。

「一般的に、職人と言えはぶつきらぼうというイメージがあるでしょう。当社のスタッフは『職人ばくくない職人』なんです」

お客様に直接仕事をいただくようになりました。私どもはそれまで下請けの仕事が100パーセントだったのですが、組織の体質を変えたんです。経営面を安定させるためには、元請けに頼ってはいけません。むしろや新聞広告、小冊子の配布などを行い、地域の方から直に工事を受注しているんです。

大西 「ペイントショップ栄和」という名前を積極的に地域へアピールされているのですね。

伊藤 ええ。自分たちのことを皆様にご存知いただかないと、仕事はいただけないと思ってきました。現在、当社ではニュースレターを毎月地域の方へ送付しているんです。ニュースレターには当社の特徴や私の考えなどを記し、私やスタッフの顔写真も載せています。ニュースレターを見て私どものことを気に入ってくださった方から連絡があり、受注することもあります。最初ご連絡をいただく時点で、お客様はすでに私どもの顔も考えも知っているというわけです。当社では飛び込み営業や電話でのセールスは一切しておりません。

大西 お仕事の上で、伊藤社長が普段から大事にしておられることは何ですか。伊藤 地域に密着して活動することです。私は会社の規模を大きくしたいとは思っていません。とにかく人に喜んでいただける施工を地道に行いたいんです。

それと、私には下請けとして苦労した経験があります。ですから当社は下請け業者を使っていません。自社で責任を持って施工しています。

大西 現在、スタッフは何名？

伊藤 5名です。若い人が多く、平均年齢は30歳くらいですね。

大西 社長からスタッフの皆さんへ日ごろおっしゃっていることはありますか。

伊藤 毎朝のミーティングで「心を込めて施工をしよう」と伝えています。いくら質の高い塗料を使用しても、職人が心を込めて施工していなければ良い仕上がりにはなりません。漠然と塗るのではなく、ひと塗りごとに「きれいになれ」と思うことが大切なんです。また、当社のキーワードは「ありがとうございます」なんです。朝現場に行ったら「ありがとうございます」、お客様に何かをし

てもらったら「ありがとうございます」、近所の人にも「ありがとうございます」……。全スタッフがいつでも「ありがとうございます」と言うよう心掛けています。一般的に、職人と言えはぶつきらぼうというイメージがあるでしょう。当社のスタッフは「職人ばくくない職人」なんです。みんな明るく元気で、頭は低いです。

大西 最後に、今後の展望を。

伊藤 当社はこれからも地域密着型の会社であり続けます。現在、私の弟が当社の専務を務めているんです。いずれ弟に経営をバトンタッチし、私は次のステップに進みたいと思っています。「コーチング」に力を注ぎたいと考えています。皆様への心のケアを行い、富士宮の町を明るくしたいですね。

大西 本日はありがとうございました。

大西 結花 (女優)



「スタッフは本当に頑張ってくれている。みんなには感謝しています」と伊藤社長はおっしゃっていました。社長はスタッフやその家族の皆さんと一緒にお酒を飲むことも多いそうです。スタッフのことを話されているとき、社長はとても優しい表情をされていました(笑)。スタッフの皆さんと力を合わせ、社長にはこれからもぜひ頑張っていたいだきたいです。[ペイントショップ栄和]さんのますますのご発展をお祈りしています」

有限会社 ペイントショップ栄和

静岡県富士宮市内野 266 TEL 0544-54-2360 FAX 0544-54-2364

URL : <http://www.shopeiwa.com>